

大滝根川流域ガイドブック

—動物編—



はじめに

みなさん、休みの日に遊びに出かけるというと、たいていの方は車にのって遠くの山や海、テーマパークなどへ行きたいと思います。でも、もっと身近に楽しめることはたくさんあります。みなさんが住んでいる大滝根川流域には、すばらしい自然がたくさんあります。自分たちの住んでいるところをよく知って、良いところは大切に守ってほしいと思います。

この本は、みなさんが近くの野山に出かけるとき、また自分たちの住んでいるところについて知りたいときに、使ってください。

平成 17 年 5 月

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会

会長 三春町長 鈴木 義孝

もくじ

しぜん かんさつ 自然を観察するときは？	1
おおたきねがわりゆういき 大滝根川流域ってどんなところ？	3
おおたきねがわりゆういき どうぶつ 大滝根川流域の動物たち	5
ほにゅうるい 哺乳類	5
トピック1 けものたちの ^{あし} 足あとのちがい	14
ちようるい 鳥類	17
トピック2 みはる 三春ダムができてふえてきたカモたち	35
りようせいるい はちゅうるい 両生類・爬虫類	37
トピック3 カエルの ^な 鳴き ^{こえ} 声	45
こんちゅうるい 昆虫類	46
きしょう どうぶつ 希少な動物	59
がいらいしゆ 外来種	80
さくいん	86

自然を観察するときは？

山や川に行く

- ・ 行き先をお家の人に告げて、ひとりでは出かけないようにしましょう。
- ・ 動きやすい服装で出かけましょう。
- ・ 山の急な斜面や川の深いところなど、あぶないところには近づかないようにしましょう。
- ・ ゴミを捨てないで、持ってきたものは持ち帰りましょう。

生き物を観察する

- ・ むやみに草を抜いたり、枝を折ったりしないようにしましょう。
- ・ かぶれるウルシの木やとげのある花、マムシ、ハチなどに十分気をつけましょう。
- ・ 野生の動物や野鳥は、人が近づくとこわがるので、おどかさないうに観察しましょう。
- ・ 昆虫は、むやみにつかまえないで、採集計画を立ててからつかまえましょう。
- ・ 川にいる魚や水生昆虫をつかまえたら、観察してから川にかえしましょう。



ヤマウルシの木



マムシ



オオスズメバチ

しぜんかんさつ い ぶんそう
自然観察に行くときの服装

かばん

の飲み物や^{まかん}図鑑などを持って行くときは、リュックサックやウエストポーチなど、手が自由に使えるものにしましょう

ぼうし
帽子

^{あたま}頭があつかならないように、また、虫に刺されないようにするために、かぶりましょう

ぶんく
服

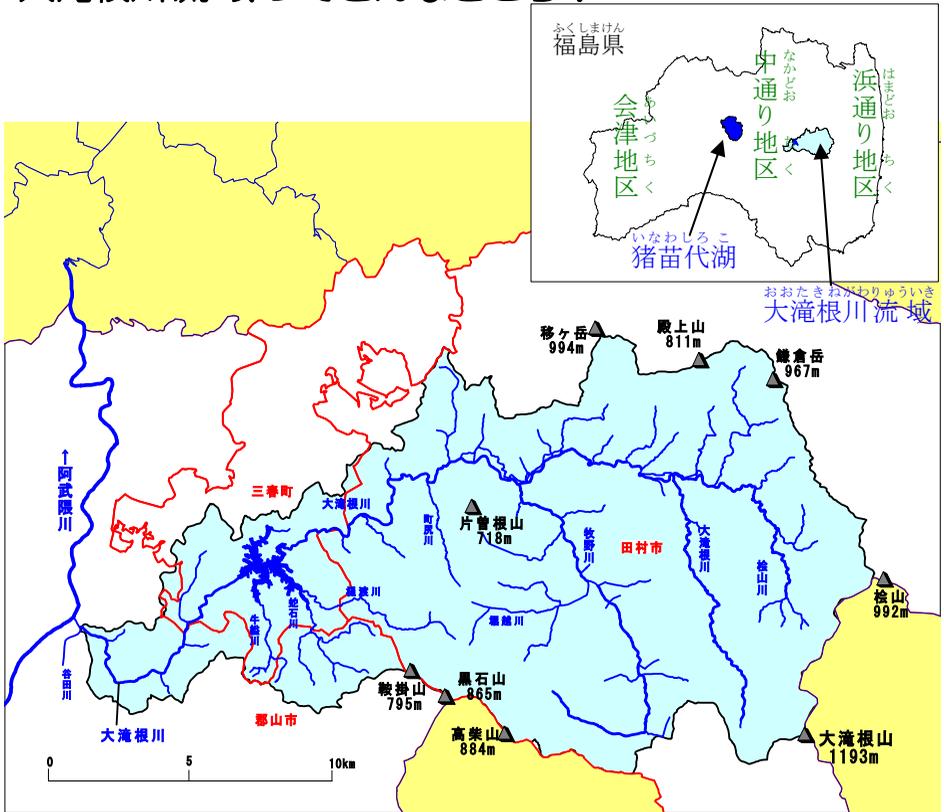
^{むしき}虫刺されやけがから^み身を^{まも}守るために、^{なが}長そで、^{なが}長ズボンにしましょう

くつ

トレッキングシューズやスニーカーなど、歩きやすいものにしましょう
^{みずべ}水辺に行くときは、^{なが}長ぐつをはきましょう



大滝根川流域ってどんなところ？



1. 位置

大滝根川は、福島県中通り地方の中央から少し東にある大滝根山（標高1193m）から流れて、阿武隈川に注いでいます。大滝根川流域とは、上の絵で水色にぬられたところで、雨が降ると大滝根川にその水が注ぐところです。大滝根川流域は、大滝根山、峠山、鎌倉岳、移ヶ岳などの標高が900 mくらいの山にかこまれた場所です。平らなところとよならかな丘があり、それらのあいだに木の枝のように谷が広がっています。

2. 地質

大滝根川流域の地質は、ほとんどが中生代につくられた花崗岩類です。中生代とは、恐竜がたくさんいた時代で、人間がこの世に生まれるずっと前のたいへん古い時代です。大滝根川流域の花崗岩類は、昔から、昼間は太陽の熱であたためられて、夜は寒くなることがくりかえされ、少しずつボロボロになり（風化）、表面が砂のようにマサ化しているところが多いです。



花崗岩



マサ化している

2. 気候

大滝根川流域は、あたたかい海岸性の気候の浜通り地区と大雪が降る寒い会津地区の間にあり、年間を通して変化に富んだ気候を経験することができます。1日の平均気温は、夏で23℃くらい、冬で0℃くらいです。雨の量は、1年の合計が1100～1200 mmで、全国的にみると少ない地域です。

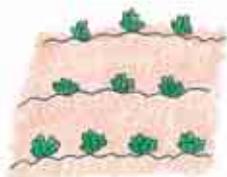
おおたきねがわりゅういき どうぶつ
大滝根川流域の動物たち

ほにゅうるい
哺乳類

大滝根川流域には、コナラやクリなど実がなる木がある山がたくさんあります。また、大滝根川には流れ込む小さな川がたくさんあり、川の中には魚もいっぱいすんでいます。

みなさんは気づいていないかもしれませんが、大滝根川流域には、木の実や魚をえさにしている動物たちがたくさんすんでいます。山や川に行くと動物たちに会うことはあまりないかもしれませんが、よく観察して歩いていると、ふんや足あとなどの動物たちの生活のあと（フィールドサイン）を見つけることができますでしょう。

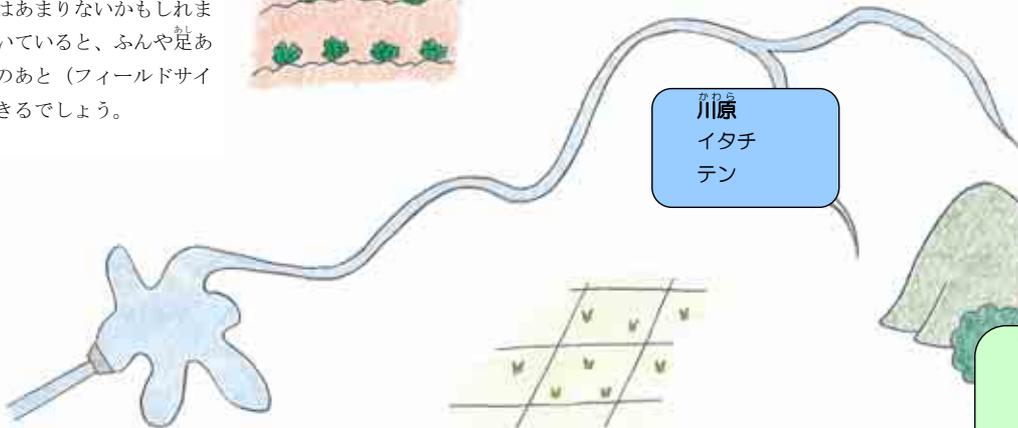
ほのほ
畑
モグラ



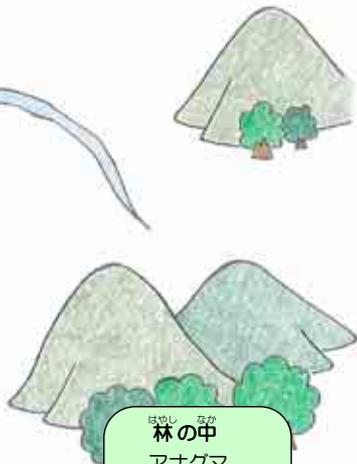
はやし
林のまわり
 タヌキ
 キツネ
 アカネズミ
 イノシシ



かわら
川原
 イタチ
 テン



はやし ちや
林の中
 アナグマ
 ノウサギ
 ニホンリス
 ムササビ
 ヒメネズミ





アナグマ

イタチ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：50 cm くらい

いっけん
一見するとタヌキに似ていま
すが、タヌキよりがんにょう
で、しっぽは短く、前足、後足
ともに5本指で長い爪があり
ます。



ノウサギ

ウサギ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：45 cm くらい (ネコ
くらい)

おなかが白く、背中は茶色を
しているウサギです。耳の先
は黒いです。おもに夜に活動
するため、姿をみつけるのは
むずかしいですが、フンや
あしあとを見分けることは簡単
です。





NM

ニホンリス

リス科

分布：本州・四国・淡路島

大きさ：20 cm くらい

しっぽは 17 cm くらい

おなかは白くて、背中は赤茶色です。冬では背中は灰色にちかくなります。ニホンリスが食べたあとのオニグルミのからは、きれいにたてに割れています。



MD

ムササビ

リス科

分布：本州～九州

大きさ：35 cm くらい

ムササビは、夜に活動する空と飛ぶリスの仲間です。前足と後足のあいだに膜があり、それをひろげて飛びます。



NM

ヒメネズミ

ネズミ科

分布：北海道～九州

大きさ：9 cm くらい

アカネズミとよく似ていますが、ひとまわり小さいです。
木のぼりが得意なネズミです。

はたけ
畑



NM

モグラ

モグラ科

分布：本州の中部より北

大きさ：15 cm くらい

モグラの姿を見つけることはむずかしいですが、モグラが穴を掘ったあとを見つけたことがある人は多いでしょう。



はやし
林のまわり



NM

タヌキ

イヌ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：50 cm くらい

ずんぐりした丸^{まる}っこいからだ
と太^{ふと}くてふさふさしたしっぽ
が特^{とくちよう}徴です。タヌキは、タニ
シやカエル、虫^{むし}やネズミ、ヤ
マブドウなど、何^{なん}でも食^たべま
す。



MN

キツネ

イヌ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：70 cm くらい

とが^{くちさき}った口先と大^{おお}きくて
三^{さん}角^{かく}形^{けい}の耳^{みみ}が特^{とくちよう}徴^{てい}です。犬^{いぬ}
にていますが、足^{あし}先^{さき}の前^{まえ}側^{がわ}が
黒^{くろ}いことと耳^{みみ}の後^{うしろ}ろ^{くろ}が黒^{くろ}い
ことで見^み分^わけられます。



NM

アカネズミ

ネズミ科

分布：日本全土

大きさ：12 cm くらい

おなかは白くて、背中は赤茶色のネズミです。明るい林の中や草原、川原などいろいろな環境で見られます。



TK

イノシシ

イノシシ科

分布：北海道・本州の豪雪地帯を除く全域

大きさ：110 cm くらい

山の中では日中も活動していますが、生活の中心は夜です。タケノコやサツマイモを鼻先で掘りおこすので、よく出没するところでは大変な被害をうけます。



←イノシシの足あと



IH

イタチ

イタチ科

ぶんぶ ほんぜんど
分布：日本全土

おお
大きさ：35 cm くらい

みみ ちい かし みじか
耳が小さく、足は短くて、
ぜんたいてき ほそなが どうぶつ
全体的に細長い動物です。ミンクとにしていますが、イタチは口からあごが白くて、おなかはうすい茶色です。



OY

テン

イタチ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：45 cm くらい

なつ かお あし くろ わね
夏は顔と足が黒くて、胸は
きいろ せなか ちやいろ
黄色、背中茶色をしています。
ふゆ しやしん かお しろ
冬は写真のように顔が白
くて、足は黒く、残りの部分は
きいろ ぶんぶ
黄色になります。

あぶくま^{どう}洞



キクガシラコウモリ

キクガシラコウモリ科

0Y

ぶん^{ぶん}が ほっかい^{ほっかい}どう^{どう} きゅうしゅう^{きゅうしゅう}
分布：北海道～九州

あぶくま^{どう}洞^{どう}でみられます。日中は洞窟^{にっちゅう}で休^{どうくつ}んでいて、夜^{やす}になると外^{よる}へ飛^とび出^だします。



アブラコウモリ

じゅうたく^{じゅうたく}ち^ち はし^{はし} した^{した}
住宅地^{じゅうたくち}や橋^{はし}の下^{した}などでふつうにみられるコウモリは、アブラコウモリです。

アブラコウモリは、キクガシラコウモリより小^{ちい}さく、はねをひろげたときの大きさは、おとなの手^{おお}のひらくらいです。

おおたきねがわりゅういき^{おおたきねがわりゅういき}
大滝根川流域^{かくだにんれい}では、クマ、シカ、サルの確認例^{かくだにんれい}はありません。

トピック1

けものたちの足あとのちがい

野生の動物たちは、私たち人間になれていないので、山や川に出かけても、その姿をみることはなかなかありません。しかし、川原の砂がたまっているところや冬の雪の上などに、動物たちがいる証拠(足あと)を見つけることができるでしょう。

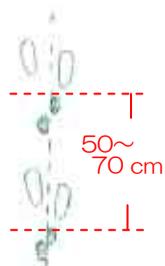
ノウサギ



前足



後足



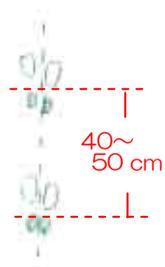
ニホンリス



前足



後足



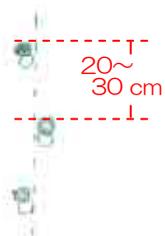
タヌキ



前足



後足

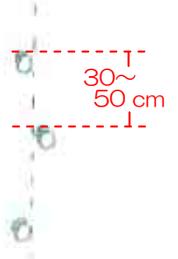


キツネ



前足

後足



30~
50 cm

イタチ



前足

後足



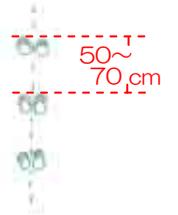
50~
55 cm

テン



前足

後足



50~
70 cm

アナグマ



前足

後足



15 cm
くらい

TK

ハクビシン



前足

後足

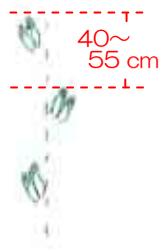


イノシシ



前足

後足



TK



TK

ちょうるい
鳥類

大滝根川流域は、少し高い山にすむ鳥たちや草はらにすむ鳥たち、水辺にすむ鳥たちと、さまざまの鳥がすんでいます。双眼鏡を持って野山へ出かけると、いろいろな色の鳥たちに会えることでしょう。また、春は鳥たちの繁殖の時期です。この時期のオスは、「さえざり」といって、きれいな声で鳴きます。耳をすましてみると、いろいろな鳴き声が聞こえてくるでしょう。

畑・家のまわり
スズメ
ムクドリ
ハシボソガラス
ハシブトガラス

林のまわり
キジ
ウグイス
ホオジロ

さくら湖
カイツブリ
カワウ
オシドリ
マガモ
カルガモ

川原
アオサギ
ヤマセミ
カワセミ
キセキレイ
セグロセキレイ
カワガラス

田んぼ
トビ
ツバメ
ツグミ

林の中
フクロウ
アオゲラ
コゲラ
ヒヨドリ
ヤマガラ
シジュウカラ

せつめい 説明について

みられる時期

鳥たちは、多少なりとも季節による移動をしています。春には繁殖のために、生まれ故郷に移動して、秋になると越冬のためにあたたかいところへ移動します。その移動するところが遠い鳥は、ある特定の季節にしか見ることができません。この本では東北地方でみられる時期を示しました。

留鳥：ほとんど移動しなくて、一年中みられる

夏鳥：春に南のほうからきて繁殖し、秋になるとまた南のほうへ渡って越冬する

冬鳥：秋に北のほうから越冬のためにきて、春になると北のほうへ戻って繁殖する

おお 大きさ

鳥類の大きさのところで、みなさんがよく知っている、スズメ、ハト、カラスの3つの鳥とくらべてどうかという表記をしました。

<実際の大きさ>



スズメ

14 cm くらい

キジバト

33 cm くらい

ハシブトガラス

57 cm くらい



MN

フクロウ

フクロウ科

みられる時期：留鳥

大きさ：カラスくらい

日中は林で休んでいて、主に夜に活動します。「ホーホー」と鳴いて、3秒くらいあいて「ホロッホホッホー」と鳴きます。



MN

アオゲラ

キツツキ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトより少し小さい

背中がくすんだ黄緑色で、頭とくちばしの横が赤いキツツキです。



MH

コゲラ

キツツキ科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメくらい

白と黒のごましお柄をした
小型のキツツキです。「ギィー」と鳴きます。



MH

ヒヨドリ

ヒヨドリ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトより少し小さい

春にサクラの蜜をなめにきて、にぎやかに鳴いています。
体全体は灰色で、目のうしろは茶色です。



MH

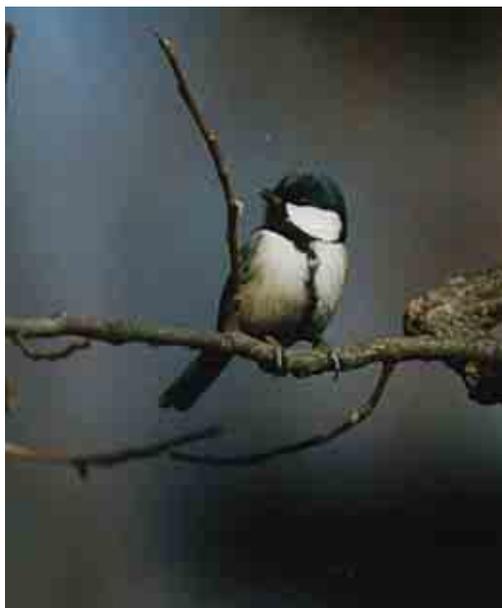
ヤマガラ

シジュウカラ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：スズメくらいおお

おなかと背中せなかがレンガ色いろで、
羽はねは青あおっぽい灰色はいろです。春はるの
早い時期はや じきからさえずります。



MH

シジュウカラ

シジュウカラ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：スズメくらいおお

黒くろいネクタイネクタイをしているよう
に、おなかの真まん中なかに黒くろい線せん
があります。

はやし
林のまわり



MN

キジ

キジ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：カラスより大きいおお おお

春はるに「ケーツ ケーツ」とおお大きな声で鳴きます。おすは真まつ赤かな顔なおをしているので、よく目立ちます。め だ



MH

ウグイス

ウグイス科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：スズメくらいおお

やぶの中なかにいることが多いので、姿すがたを見つけることはむずかしいです。「ホーホケキョ」とさえざります。おお



MN

ホオジロ

ホオジロ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：スズメくらいおお

低い木のでっぺん近くの自立ひく き の てっぺん ちか の めだ
つ枝にとまって、さえずりまえだ
す。目の上と頬め うえ ほおが白しろいです。



MN

アオサギ

サギ科

みられる時期：留鳥

大きさ：カラスよりずっと大きい

大型のサギです。飛び立つときや飛んでいるときに、「グア」と大きな声で鳴きます。



MN

ヤマセミ

カワセミ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトくらい

さくら湖や大滝根川沿いでみられます。くちばしが大きく、とんがり頭で、からだ全体がごましお模様のかわいらしい鳥です。水中に飛び込んでくちばしで魚をとります。



MN

カワセミ

カワセミ科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメくらい

さくら湖や大滝根川沿いでみられます。漢字では「翡翠」と書き、背中せなかの青色あおいろが大変美しい鳥とりです。「ピッ」「チッ」と金属きんぞく的な声こゑで鳴きます。



MH

キセキレイ

セキレイ科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメくらい

おなかが黄色きいろくて、背中せなかは黄色きいろがかった灰色はいいろです。飛びながら「チチッ、チチッ」と鳴なきます。



SK

セグロセキレイ

セキレイ科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメくらい

頭の上から背中と胸のところが黒いです。尾羽を上下に振りながら、水辺を歩いて水生昆虫を食べます。



MN

カワガラス

カワガラス科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメとハトの間くらい

水中に潜ったり、川底を歩いたりしながら、水生昆虫や魚を食べます。

た
田んぼ



SK

トビ

タカ科

みられる時期：留鳥

おお 大きさ：カラスより大きい

と 飛んでいる姿を下からみると、全体はこい茶色で、羽の先の方には白い斑点があるのが特徴です。また、尾羽は三味線のばちのような形をしています。



MH

ツバメ

ツバメ科

みられる時期：夏鳥

(3月-10月)

おお 大きさ：スズメくらい

いえ のきした はし などに、泥で おわん型の巣をつくりま す。低いところをクルクルと飛び回りながら、飛んでいる虫をとります。



MH

ツグミ

ツグミ科

みられる時期：冬鳥

(10月 - 4月)

大きさ：スズメとハトの中間
くらい

草地や川原などひらけたところで、地面をはね歩いて立ち止まり、ミミズなどを食べます。



TK

はたけ いえ
畑・家のまわり



SK

スズメ

ハタオリドリ科

みられる時期：留鳥

市街地や畑、川原などでふつ
うにみられる、おなじみの鳥
です。



MH

ムクドリ

ムクドリ科

みられる時期：留鳥

大きさ：スズメとハトの中間
くらい

畑や背の低い草地などで、虫
や木の実を食べます。飛んで
いるときは、全体の形が
三角形にみえます。



MH

ハシボソガラス

カラス科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

ハシボソガラスは「カア カア」と鳴きますが、ハシボソガラスは「ガーア ガーア」とにごった声こえで鳴きます。



MH

ハシブトガラス

カラス科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大滝根川流域おおたきねがわりゅういきでは、2種類しゅるいのカラスがみられますが、名前なまえのとおりくちばしおおいが大きい方がハシブトガラスです。また、額ひたいがくちばしからほぼ直角ちよっかくにせり出しているのも特徴とくちょうです。

でっばっている



ハシブトガラス

ハシボソガラス

さくら湖



MH

カイツブリ

カイツブリ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトくらい

さくら湖で年中みられますが、小さくて、よく潜って魚をとるので、見つけることはむずかしいかもしれません。



MH

カワウ

ウ科

みられる時期：留鳥

大きさ：カラスよりずっと大きい

さくら湖や川で年中みられます。カワウの羽はカモ類とちがって、水をあまりはじかないため、ブイの上や木の上にとまって、羽をひろげて乾かしている姿もみられます。



MH

オシドリ

カモ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトより少し大きい

冬にさくら湖で見られます。
おすはとてもカラフルで、
背中にあるイチオウの葉のよ
うな形をしたオレンジ色の羽
が目立ちます。



SK

マガモ

カモ科

みられる時期：冬鳥

(10月－3月)

大きさ：カラスくらい

冬にさくら湖で見られる頭が
みどりいろのカモです。めすは
全体的に茶色でカルガモに似
ていますが、くちばしの先が
黄色ではないことから見分け
られます。



MH

カルガモ

カモ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちよう

大きさ：カラスくらいおお

さくら湖や田んぼ、川などで
年中みられるカモです。くち
ばしの先が黄色いと顔の横
じま模様が特徴です。きき きいろ かお よこ
もよう とくちよう



←冬にさくら湖^{さくらこ}にきて
いるマガモとカルガモ

MH

→オオハクチョウがく
ることもあります

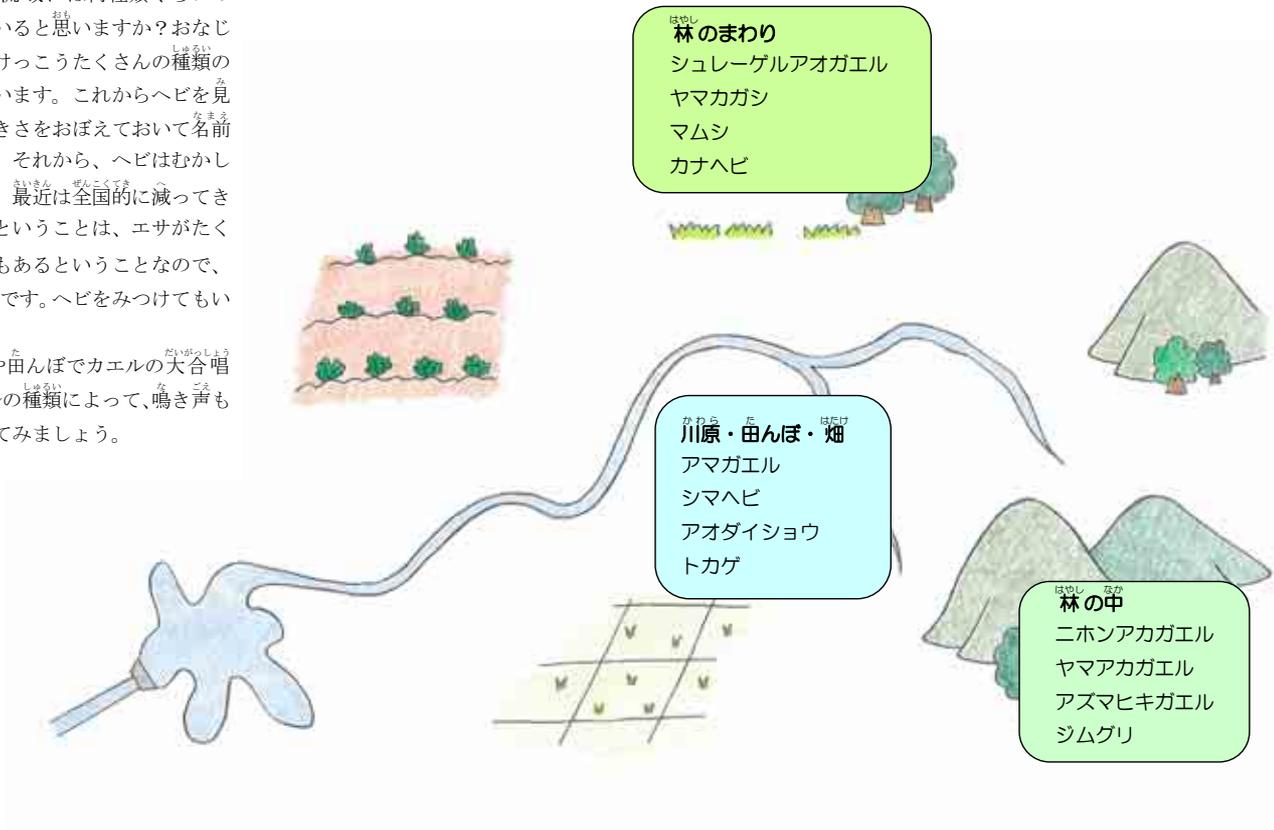


MD

両生類・爬虫類

みなさんは大滝根川流域には何種類くらいのヘビやカエルの仲間がいると思いますか？おなじように見えていても、けっこうたくさん種類のヘビやカエルの仲間がいます。これからヘビを見つけたときは、色や大きさをおぼえておいて名前をしらべてみましょう。それから、ヘビはむかしはたくさんいましたが、最近^{さいきん}は全国的^{ぜんこくてき}に減^へってきています。ヘビがいるということは、エサがたくさんあって、すむ場所もあるということなので、いい環境^{かんきょう}だということです。ヘビをみつけてもいじめないでください。

また、夏の夜、水辺^{みづべ}や田んぼ^{いんぼ}でカエルの大合唱^{だいごっしょう}が聞こえますが、カエルの種類^{しゅるい}によって、鳴き声^{ななきこゑ}もちがうので、聞き分けてみましょう。





OY



ニホンアカガエル

アカガエル科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：3.5～6.7 cm

くさち はやし なか た
草地や林の中、田んぼでみ
られます。落ち葉の下おぼにいる小
さな昆虫こんちゅうなどを食たべます。体
の色は、黄土色おうどいろから赤茶色あかちいろま
でさまざまです。



MH



ヤマアカガエル

アカガエル科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：4.0～8.0 cm

ニホンアカガエルとよくにて
いますが、目のうしろから
背中せなかにつづく線せんが鼓膜こまくのうし
ろで曲まがっているところがち
がいます。体からだの色は、黄土色おうどいろか
ら赤茶色あかちいろまでさまざまで、
背中せなかに黒くろっぽい模様もようが入はい
っているものが多おほいです。



KK

卵

アズマヒキガエル

ヒキガエル科

分布：近畿^{きんき}地方^{ちほう}より東^{ひがし}の
 本州^{ほんしゅう}・函館^{はこだてしゅうへん}周辺

大きさ：4.0～16.5 cm

体^{からだ}はがんじょうで、背^せ中に
 大小^{だいしやう}の突起^{とつき}があり、毒液^{どくえき}（ア
 ルカロイド）を分泌^{ぶんびつ}します。
 背^せ中の色^{いろ}は、黄土^{おうどいろ}色や赤茶^{あかちやいろ}色
 です。白^{しろ}と黒^{くろ}の帯^{おび}状^{じやう}の模^も様^{よう}が
 入^{はい}るものもいます。



MD

ジムグリ

ナミヘビ科

分布：北海道^{ほっかいどう}～九州^{きゅうしゅう}

大きさ：70～100 cm

赤茶^{あかちやいろ}色のへびです。地^ち中^{ちゆう}の穴^{あな}
 によくもぐります。

はやし
林のまわり



MD

シュレーゲルアオガエル

アオガエル科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

おお
大きさ：3.2～5.3 cm

アマガエルとよくまちがえられますが、顔の横の黒いラインがないことで区別できます。体の色は、黄緑色ですが、アマガエルと同様に、色を変えることができるので、茶色になっていることもあります。



MD

ヤマカガシ

ナミヘビ科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

おお
大きさ：70～150 cm

おお
多くの地域でもっともふつうにみられるヘビです。「ヤマカガシ」ともよばれています。



MD

マムシ

クサリヘビ科

分布：北海道～九州

大きさ：40～65 cm

赤茶色で背中の左右に 20 個くらいのだ円形の模様があります。大きな毒牙をもっています。



MD

カナヘビ

カナヘビ科

分布：北海道～九州

大きさ：16～27 cm

昆虫やクモなどを食べます。「カナチョロ」ともよばれています。



OY

アマガエル

アマガエル科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

おお
大きさ：2.2～4.5 cm

もっともよくみられるカエル
です。黄緑色きみどりいろのイメージが
つよいですが、まわりの環境かんきょう
によって体からだの色は変わります。
皮かわふからは強い毒どくが分泌ぶんびつ
されているので、さわったら手てを
よく洗あらいましょう。



MD

シマヘビ

ナミヘビ科

ぶんぶ ほつかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

おお
大きさ：80～150 cm

カエルを主おもに食べます。胴体どうたい
に4本ほんのたてじまがあります。



MD

アオダイショウ

ナミヘビ科

分布：北海道～九州

大きさ：110～200 cm

主に木の上で生活しており、
鳥やネズミ、ウサギなどを食べます。



OY

トカゲ

トカゲ科

分布：北海道～九州

大きさ：20～25 cm

水辺や神社の石垣など、日当たりのよいところでみられます。

トピック3

カエルの鳴き声

みなさんはカエルの鳴き声はどんな声だと思えますか？「かえるのうたが～ きこえてくるよ～」にあるように、「ケロッ ケロッ」とか「グワッ グワッ」と想像する人が多いでしょう。ところが、カエルは種類によって鳴き声はさまざまです。

ヤマアカガエル

ニヤツニヤニヤニヤ



ニホンアカガエル

キュッキュッキュツ

アズマヒキガエル

クウクウクウクウツ

グググ



シレーゲルアオガエル

キリリリッ・キリリリッ



アマガエル

グエッグエッグエツ

ツチガエル

ギューギューギュー



トウキョウダルマガエル

グゲゲゲケツグゲケ



モリアオガエル

カラララ・カラララ

ククククツ

ウシガエル

ヴォォォーヴォォー



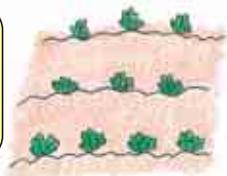
昆虫類

地球上に生息する動物の約80%は昆虫です。

みなさんが住んでいる大滝根川流域にも2500種以上の昆虫がすんでいます。それぞれの虫によって、見られる季節や場所がちがうので、みなさんいろいろなところへ出かけて、虫たちを見つけてみましょう。

畑

モンキチョウ
キチョウ
スジグロシロチョウ



林のまわり

ベニシジミ
ヤマトシジミ
キアゲハ
モモフトカミキリモドキ



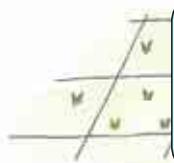
林の中

ゴムムシ
アオオサムシ
コクワガタ
ミヤマクワガタ
カブトムシ
アオカナブン
ジャノメチョウ
オオスズメバチ



川原

アジアイトトンボ
ハグロトンボ



田んぼ

コサナエ
オニヤンマ
ギンヤンマ
ノシメトンボ



TK

ゴミムシ

ゴミムシ科

分布：^{ぶんぶ}北海道^{ほっかいどう}～九州^{きゅうしゅう}

みられる時期：^じ春^{はる}～秋^{あき}

大きさ：^{おお}1.3 cm くらい

^{はやし}林の中^{なか}や^{くさち}草地などでふつうに
みられます。地面^{じめん}を^{ある}歩き回^{まわ}っ
て^{せいかつ}生活しています。



AY

アオオサムシ

オオサムシ科

分布：^{ぶんぶ}本州^{ほんしゅう}（^{きんき}近畿^{きた}より北）

みられる時期：^じ4月^き－5月

大きさ：^{おお}2.5～3.2 cm

^{じめん}地面^{ある}を^{まわ}歩き回^{まわ}って、^{こんちゅう}ミミズや
昆虫^たを食べます。



SK

コクワガタ

クワガタムシ科

分布：北海道～九州

みられる時期：5月～8月

大きさ：おす 1.6～4.5 cm

めす 2.0～2.8 cm

クヌギやコナラなどの樹液にあつまります。幼虫はクヌギなどの朽木にいます。



SK

ミヤマクワガタ

クワガタムシ科

分布：本州・四国・九州

みられる時期：7月～8月

大きさ：おす 4.3～7.2 cm

めす 3.2～3.9 cm

成虫はクヌギやコナラなどの樹液にあつまります。オスはメスより大きく、立派な大あごをもっています。



SK

カブトムシ

コガネムシ科

分布：ぶんぶ 本州ほんしゅう～おきなわ 沖縄

みられる時期：じき 6月－8月

大きさ：おお 3.0～5.3 cm

せいちゅう 成虫はクヌギやコナラなどの
じゅえき 樹液にあつまります。また、
でんとう 電灯の下にもよってきます。



SK

アオカナブン

コガネムシ科

分布：ぶんぶ 北海道ほっかいどう～きゅうしゅう 九州

みられる時期：じき 7月－8月

大きさ：おお 2.5～2.9 cm

クヌギやコナラなどのじゅえき 樹液に
あつまります。光沢のあるき
れいなみどりいろ 緑色をしています。



OY

ジャノメチョウ

タテハチョウ科

分布：北海道～九州

みられる時期：7月～8月

大きさ：2.5～3.5 cm

日当たりのよい草地で見られます。成虫は花の蜜や樹液にあつまります。



SK

オオスズメバチ

スズメバチ科

分布：北海道～沖縄

みられる時期：4月～10月

大きさ：2.5～4.5 cm

日本に住むハチの中でもっとも大きく、性質は凶暴です。毒性も強いので、見かけたら刺されないように注意しましょう。

はやし
林のまわり



SK

ベニシジミ

シジミチョウ科

ぶんぶ ほっかいどう きゅうしゅう
分布：北海道～九州

みられる時期：4月～5月

おおきさ：はねを開いたとき

2.5 cm くらい

かわらやたんぼのあぜなどでみ
られます。春型はオレンジ色
で、夏になると黒っぽくなり
ます。



SK

ヤマトシジミ

シジミチョウ科

ぶんぶほんしゅうあまみしとう
分布：本州～奄美諸島

みられる時期：4月～5月

おおきさ：はねを開いたとき

2.7 cm くらい

はやし
林のまわりや荒れ地など、
ひあたりのよいところでみら
れます。幼虫はカタバミの葉
を食べます。



SK

キアゲハ

アゲハチョウ科

分布：北海道～九州

みられる時期：4月～7月

大きさ：4 cm くらい

日当たりのよい草地で見られます。幼虫はセリ科の植物を食べます。



OY

モモブトカミキリモドキ

カミキリモドキ科

分布：北海道～九州

みられる時期：4月～6月

大きさ：5.5～8.0 cm

カミキリムシに似ていて、林のまわりで見られます。黄色い花にあつまります。



AY

アジアイトトンボ

イトトンボ科

分布：北海道^{ほっかいどう}～沖縄^{おきなわ}

みられる時期^{じき}：4月～11月

大きさ^{おお}：2.0～2.5 cm

水辺^{みずべ}近く^{ちか}やすこしはなれた^か草地^{くさち}などでもふつうにみられます。



SK

ハグロトンボ

カワトンボ科

分布：本州^{ほんしゅう}～屋久島^{やくしま}

みられる時期^{じき}：5月～10月

大きさ^{おお}：4.2～5.2 cm

はね^{くろ}が黒いところから名^ながつけました。水辺^{みずべ}でよくみられます。

た
田んぼ



AY

コサナエ

サナエトンボ科

ぶんぶ ほっかいどうほんしゅう
分布：北海道～本州

みられる時期：4月～8月

おお
大きさ：4.2 cm くらい

みずべ しっち
水辺や湿地で見られます。



OY

オニヤンマ

オニヤンマ科

ぶんぶ にほんぜんど
分布：日本全土

みられる時期：6月～10月

おお
大きさ：6.0～7.6 cm

なまえ ゆらい かお
名前の由来は、顔がおそろしいことと、黒と黄色の模様が
トラ柄の鬼のふんどしを連想させるためだそうです。



AY

ギンヤンマ

ヤンマ科

分布：北海道～沖縄

みられる時期：4月～11月

大きさ：7 cm くらい

おなかに銀色の斑紋があると
ころから名がつけました。



OY

ノシメトンボ

トンボ科

分布：北海道～九州

みられる時期：6月～11月

大きさ：4.5 cm くらい

たんぼやため池などでみられ
ます。アカトンボの仲間では
もっとも大きく、はねの先が
黒いです。



OY

モンキチョウ

シロチョウ科

分布：日本全土

みられる時期：3月－7月

大きさ：はねを開いたとき

5 cm くらい

川原や荒地など、日当たりのよいところでみられます。

幼虫はマメ科の植物を食べます。



OY

キチョウ

シロチョウ科

分布：本州～沖縄

みられる時期：6月－8月

大きさ：2.2 cm くらい

秋の終わりに成虫になったものが越冬して、春にみられます。春、夏に成虫になったものは、冬になると死んでしまいます。



AY

スジグロシロチョウ

シロチョウ科

分布：北海道ほっかいどう～九州きゅうしゅう

みられる時期じき：4月～9月

大きさおお：3 cm くらい

湿しめったところでみられます。
はねは白しろくて、すじのところが黒くろいです。



TK

希少な動物

大滝根川流域は、里山の環境がたくさんこっています。むかしの暮らしの中では、里山はとても大切なところでした。人は火をおこすために、山で薪をとり、また、落ち葉を堆肥にして、畑や田んぼに使っていました。里山とは、手つかずの自然ではないけれど、人と自然がうまく関わって調和のとれた自然です。そのような里山の自然には、多くの生き物たちがすんでいます。いま全国的に、里山や雑木林は、人が使わなくなって荒れてしまい、そこにすんでいる生き物たちは少なくなっています。

草はら
カヤネズミ
ヒバリ
オオヨシキリ

さくら湖
トモエガモ
バン
オオバン

水辺
オゼイトトンボ

田んぼ・ため池
イモリ、トウキョウダルマガエル、ツチガエル
モリアオガエル、ヒバカリ
休耕田
ハッチョウトンボ、マークオサムシ

林の中

サンショウクイ
サンコウチョウ
ヤスマツビナナフシ
アリツカウカ
オオムラサキ

山地の溪流
ハコネサンショウウオ
ムカシヤンマ

林のまわり

オオタカ、ハイタカ、ノスリ、サシバ
シロマダラ
チョウトンボ、スジグロチャバネセリ
ウラギンシジミ、ムラサキシジミ
スカシドクガ、ムモンホソアシナガバチ



NM

カヤネズミ

ネズミ科

ぶんぶが ほんしゅう ぶくしまけいなん
分布：本州（福島県以南）

おお
大きさ：10 cm くらい

からだ^{ぜんたい}全体がオレンジ^{いろ}色でお
なかは^{しろ}白いです。ススキなど
の^は葉でボール^{がた}型の^す巣をつくり
ます。



NM

←カヤネズミの^す巣



MH

トモエガモ

カモ科

みられる時期：冬鳥

(11月－3月)

大きさ：ハトくらい

冬にさくら湖でみられます。

おすの顔は、クリーム色と
緑色と黒色があり、
巴形の様になっています。



← ともえがた
巴形



MH

オオタカ

タカ科

みられる時期：留鳥

大きさ：カラスくらい

飛んでいるときの姿は、全体に白っぽく見えます。目の上の白い斑点は目立ちます。



TK

ハイタカ

タカ科

みられる時期：留鳥

大きさ：ハトくらい

全体的な色はオオタカとよく似ていますが、オオタカより小さいです。また、目の上の斑点はないか、あっても目立ちません。



MH

ノスリ

タカ科

みられる時期：留鳥

大きさ：カラスくらい

飛んでいる姿を下からみると、全体に茶色っぽいですが、尾羽の形が扇形をしているところがトビとはちがいます。



MN

サシバ

タカ科

みられる時期：夏鳥

(4月-10月)

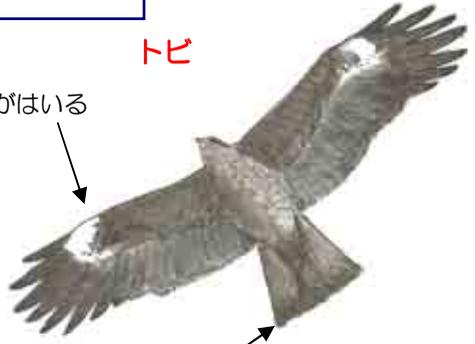
大きさ：カラスくらい

カエルやヘビをこの手で食べるので、たんぼや湿地が近くにある林に巣をつくります。「ピッウイー」という鳴き声の特徴です。

タカ類の飛んでいるときの見分け方

トビ

白い模様がいいる



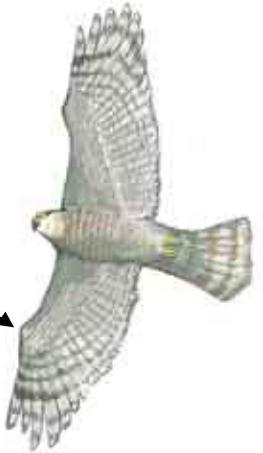
ばちの形をしている

オオタカ



ハイタカ

かく角ばっている



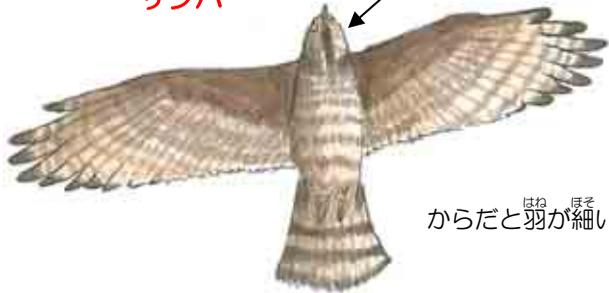
ノスリ

からだと羽が丸っぽい



サシバ

のどに黒い線がある



おうぎがた扇形をしている

からだと羽が細い



SK

バン

クイナ科

みられる時期：夏鳥

大きさ：ハトくらい

夏にさくら湖で見られます。
くちばしと額が赤く、くちばしの先は黄色です。



MH

オオバン

クイナ科

みられる時期：冬鳥

大きさ：ハトくらい

冬にさくら湖で見られます。
くちばしと額は白く、目は赤いです。



MN

ヒバリ

ヒバリ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちよう

大きさ：スズメくらいおお

5～6月の繁殖がっつ はんしよく じきの時期に、
草原そうげんの上空じようくうのたかいところで
羽ばたきながら、「チュルリ
ピチュリ チュリ チュリ
リ・・・」と1分以上ぶんいじような鳴きつづ
けます。



MH

サンショウクイ

サンショウクイ科

みられる時期：夏鳥じき なつどり

(5月－9月)

大きさ：スズメとハトの間ちゆうかん
くらい

夏なつに林はやしの中なかでみられます。「ヒ
リリリリ ヒリリリリ」とく
り返かえしてさえずります。



MH

オオヨシキリ

ウグイス科

みられる時期：夏鳥

(4月－10月)

大きさ：スズメとハトの中間
くらい

ヨシ原^{はら}で見られます。「ギョ
ギョ ギョ ギョギチ ギョ
ギチ」と5秒^{びよう}くらい、大きな
こえ^{こえ}でさえずります。



MN

サンコウチョウ

カササギヒタキ科

みられる時期：夏鳥

(4月－10月)

大きさ：体の大きさはスズメ
くらい

むかしのひと^{ひと}が鳴き^な声^{こえ}を「月^{つき}、
日^ひ、星^{ほし}」と聞いて、「三光鳥^{さんこうちよう}」
としました。おすの尾羽^{おぼね}は体^{からだ}
の2倍^{ばい}くらい^{なが}の長さです。

りょうせいはい はちゆうらい
両生類・爬虫類



NO

らん
卵のう

KK

ハコネサンショウウオ

サンショウウオ科

ぶんぶ ほんしゅう しこく さんち
分布：本州・四国の山地

おお
大きさ：11.0～19.0 cm

さんち けいりゅう
山地の溪流でみられます。卵
のうのかたちはアケビの実のよう
にながまる
ながまる
に長丸です。



OY

イモリ

イモリ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：7.0～13.0 cm

た ぼの すいろ や た め い け
田んぼの水路やため池でみ
られます。おなかがオレンジ色
をしているので、「アカハラ」
ともよばれています。



OY

トウキョウダルマガエル

アカガエル科

分布：本州（ほんしゅう 仙台平野～かんとう 関東平野）

大きさ：3.9～8.7 cm

た田んぼやかわら川原でみられます。
トノサマガエルとよくにている
ますが、トウキョウダルマガ
エルはくろい黒いはんもん斑紋がはっきりし
ています。



KK

ツチガエル

アカガエル科

分布：北海道ほっかいどう 東部以南

おお大きさ：3.7～5.3 cm

いけため池やかわら川原、けいりゅう溪流などでみ
られます。せなか背中からあし足にかけて
たくさんのイボがあるので、イボガエルともよばれま
す。つかまえられると、くさいねんえき粘液だを出します。



KH

モリアオガエル

アオガエル科

分布：茨城県を除く本州

大きさ：4.2～8.2 cm

水の中に卵をうむほかのカエルとはちがって、池のほとりの木の上に泡みたいな卵をうみつけます。シュレーゲルアオガエルとにいますが、足の吸盤が大きいことと、目のふちが赤っぽいことが特徴です。



TK



MD

シロマダラ

ナミヘビ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう ほっかいどう
分布：本州～九州・北海道の
一部

おお
大きさ：30～70 cm

はやし かわら
林のまわりや川原などでみ
られます。しろじにくろっぽいはんもん
があります。やこうせい
夜行性であるた
め、ひるまはあまりみるこ
とができます。



OY

ヒバカリ

ナミヘビ科

ぶんぶ ほんしゅう きゅうしゅう
分布：本州～九州

おお
大きさ：40～60 cm

た かわら はやし なか
田んぼや川原から林の中まで
いろいろなかんきょう
環境でみられま
す。ぜんたいにくろ
全体に黒っぽいへびです。
くちくび
口から首にかけてしろ
白いえり
もよう
模様があります。



OY

オゼイトトンボ

イトトンボ科

分布：北海道・東北地方

みられる時期：5月－8月

大きさ：3 cm くらい

川原や湿地などでみられます。青くて細身の美しいイトトンボです。



MD

ムカシヤンマ

ムカシヤンマ科

分布：本州・九州

みられる時期：4月－8月

大きさ：7 cm くらい

林の中の沢などでみられます。大型のトンボで、動きはにぶく、とまっていることのほうが多いです。



SK

ハッチョウトンボ

トンボ科

分布：本州～九州

みられる時期：5月～10月

大きさ：1.8 cm くらい

日本産のトンボ類ではもっとも小さいです。日当たりのよい湿地で見られます。おすは真っ赤で、めすは黒っぽい色をしています。



OY

チョウトンボ

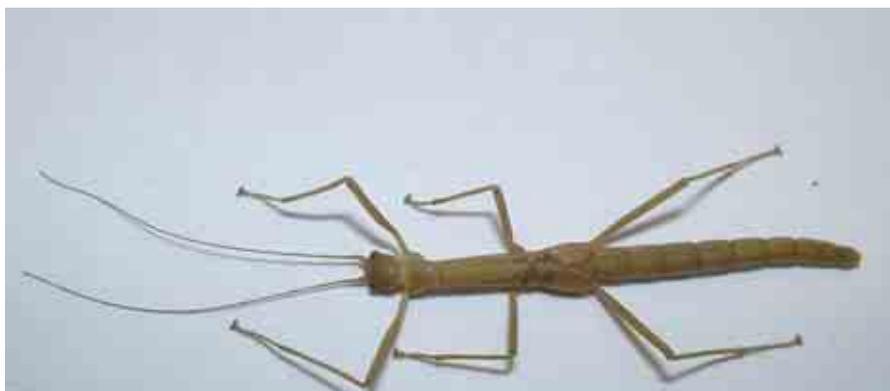
トンボ科

分布：本州～種子島

みられる時期：6月～9月

大きさ：3.5 cm くらい

林のまわりで見られます。はねが大きく、チョウのようにひらひらと舞います。



MD

ヤスマツトビナナフシ

ナナフシ科

分布：本州・九州

みられる時期：夏～秋

大きさ：4.0～5.0 cm

林のまわりで見られます。身を守るために、木の枝のような擬態（まねをすること）が得意です。



アリヅカウナカ

アリヅカウナカ科

分布：本州

大きさ：5 mm くらい

林の中でみられます。幼虫はアリの巣の中で生活します。

MD



MD

スジグロチャバネセセリ

セセリチョウ科

分布：北海道～九州

みられる時期：7月～8月

大きさ：はねを開いたとき

3 cm くらい

林のまわりの草地の花によく飛んできます。



OY

ウラギンシジミ

シジミチョウ科

分布：本州～沖縄

みられる時期：5月～10月

大きさ：はねを開いたとき

4.5 cm くらい

林のまわりで見られます。はねの裏側が真っ白なチョウです。飛んでいると白色がよく目立ちます。



MD

ムラサキシジミ

シジミチョウ科

分布：本州～沖縄

みられる時期：5月～10月

大きさ：はねを開いたとき

3.5 cm くらい

林のまわりで見られます。はねの表側が青むらさき色をしています。裏側は茶色です。



OY

オオムラサキ

タテハチョウ科

分布：北海道～九州

みられる時期：7月～8月

大きさ：5.0～7.0 cm

幼虫はエノキを食べますが、エノキはお寺の裏庭に植えられることが多かったため、身近なところでもみられません。



MD

スカシドクガ

トクガ科

分布：本州～九州

みられる時期：5月～9月

大きさ：はねを開いたとき
3.4～4.0 cm

真っ白なドクガの仲間です。
幼虫はアワブキの葉などを食べます。



MD

ムモンホソアシナガバチ

スズメバチ科

分布：本州～九州

林の中や林のまわりに巣をつくれます。攻撃性がやや強いので、見かけたら刺されないように注意しましょう。



SK

マークオサムシ

オサムシ科

分布：^{ぶんぶ}東北地方

みられる時期：^{じき}8月－9月

大きさ：^{おお}2.7～3.4 cm

^{くろ}黒くて^{すこ}少し^{こうたく}光沢があるオサムシです。^{きゅうこうでん}休耕田や^{しつち}湿地でみられます。

がいらいしゆ
外来種

がいらいしゆ
外来種とは、食べるためやペットとして飼うため、あるいは食料^{しょくりょう}などにまぎって、人間の^{にんげん}手によって持ち込まれた生き物^{いきもの}です。

おおたきねがわりゅういき
大滝根川流域でも、いくつかの外来種がみられます。

ほにゆうるい
哺乳類



NM

クマネズミ

ネズミ科

ぶんぷ にほんぜんど
分布：日本全土

おおきさ：15 cm くらい

とうなん げんさん
東南アジア原産

ドブネズミとにしていますが、からだは少し小さく、耳が大きい^{みみ おお}です。家の屋根裏^{いえのやねうら}などでみられます。



NM

ドブネズミ

ネズミ科

ぶんぷ にほんぜんど
分布：日本全土

おおきさ：20 cm くらい

みなみ げんさん
南アジア原産

みずべ
水辺にちかい場所^{ばしょ}を好んで、住宅^{じゅうたく}の庭^{にわ}や排水溝^{はいすいこう}などでみられます。



TK

ミンク

イタチ科

分布：北海道・東北地方の一部

大きさ：35 cm くらい
北アメリカ原産

からだは全身おなじ色で、黒っぽい茶色がふつうです。イタチと同じように水辺でよくみられます。



OY

ハクビシン

ジャコウネコ科

分布：青森・岩手を除いた本州東半分・四国

大きさ：50 cm くらい

しっぽは 40 cm くらい

東南アジア、中国、台湾原産

「白鼻心」という名前のおり、鼻すじから額まで顔に白いすじが入っています。おもに夜に活動します。ネコの仲間なので、木登りが得意です。



MH

コジュケイ

キジ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：ハトより少し小さいおお すこ ちい

中国に分布ちゅうごく ぶんぷ

春におすが「ピッ ピュ クワイ ピッ ピュ クワイ」と鳴きます。「ちょっと来い」と言っているように聞こえます。



MN

ガビチョウ

チメドリ科

みられる時期：留鳥じき りゅうちょう

大きさ：スズメとハトの間おお ちゅうかん

くらい

中国南部、香港、ベトナム北部ちゅうごくなんぶ ほんこん べトナムほくぶ

など原産げんざん

からだ全体はうすい茶色で、目のまわりから頭のうしろにむかって白い線があるのが特徴です。鳴き声は大きく、長く鳴きます。



KK

ウシガエル

アカガエル科

おお
大きさ：11～18 cm

きた
北アメリカ原産

食べるために持ち込まれた
おおがた
大型のカエルです。ウシのよ
うに「ウォー、ウォー」と鳴き
ます。



OY

ミシシッピアカミミガメ

ヌマガメ科

おお
大きさ：おす 20 cm

めす 28 cm

アメリカ南部からメキシコ
ほくとうぶ ぶんぶ
北東部に分布

ちい
小さいものを「ミドリガメ」と
いい、ペットとして飼ったこ
とがある人も多いでしょう。



OY

カンタン

マツムシ科

みられる時期：8月－11月

大きさ：1.2 cm くらい

朝鮮、旧北区東部に分布

草地でみられ、「リューリュ
ー・・・」と鳴きます。



TK

オオタコゾウムシ

ゾウムシ科

みられる時期：9月－11月

大きさ：8 mm くらい

ヨーロッパ原産

マメ科牧草の害虫といわれて
います。



0Y

モンシロチョウ

シロチョウ科

みられる時期：5月－9月

大きさ：2.5 cm くらい

朝鮮、満州、中国よりヨーロッパにわたり広く分布

日当たりのよいところを好み、畑や道ばたでみられます。

幼虫はキャベツをよく食べます。

さくいん

	種名	科名	ページ	環境	
哺乳類	アカネズミ	ネズミ科	11	林のまわり	
	アナグマ	イタチ科	7	林の中	
	アブラコウモリ	ヒナコウモリ科	13	住宅地	
	イタチ	イタチ科	12	川原	
	イノシシ	イノシシ科	11	林のまわり	
	カヤネズミ	ネズミ科	61	希少な動物	
	キクガシラコウモリ	キクガラシコウモリ科	13	あぶくま洞	
	キツネ	イヌ科	10	林のまわり	
	クマネズミ	ネズミ科	80	外来種	
	タヌキ	イヌ科	10	林のまわり	
	テン	イタチ科	12	川原	
	ドブネズミ	ネズミ科	80	外来種	
	ニホンリス	リス科	8	林の中	
	ノウサギ	ウサギ科	7	林の中	
	ハクビシン	ジャコウネコ科	81	外来種	
	ヒメネズミ	ネズミ科	9	林の中	
	ミンク	イタチ科	81	外来種	
	ムササビ	リス科	8	林の中	
	モグラ	モグラ科	9	畑	
	鳥類	アオゲラ	キツツキ科	20	林の中
		アオサギ	サギ科	25	川原
		ウグイス	ウグイス科	23	林のまわり
		オオタカ	タカ科	63,65	希少な動物
		オオハクチョウ	カモ科	35	湖
		オオバン	クイナ科	66	希少な動物
		オオヨシキリ	ウグイス科	68	希少な動物
		オシドリ	カモ科	33	湖
		カイツブリ	カイツブリ科	32	湖
		ガビチョウ	チメドリ科	82	外来種
		カルガモ	カモ科	34,35	湖
		カワウ	ウ科	32	湖
		カワガラス	カワガラス科	27	川原
		カワセミ	カワセミ科	26	川原
キンクロハジロ		カモ科	35	湖	
キジ		キジ科	23	林のまわり	
キセキレイ		セキレイ科	26	川原	
コゲラ		キツツキ科	21	林の中	
コジュケイ		キジ科	82	外来種	
サシバ		タカ科	64,65	希少な動物	
サンコウチョウ		カササギヒタキ科	68	希少な動物	
サンショウクイ		サンショウクイ科	67	希少な動物	
シジュウカラ		シジュウカラ科	22	林の中	
スズメ		ハタオリドリ科	30	畑・家のまわり	
セグロセキレイ		セキレイ科	27	川原	
ツグミ		ツグミ科	29	田んぼ	
ツバメ		ツバメ科	28	田んぼ	
トビ		タカ科	28,65	田んぼ	
トモエガモ		カモ科	62	希少な動物	
ノスリ		タカ科	64,65	希少な動物	

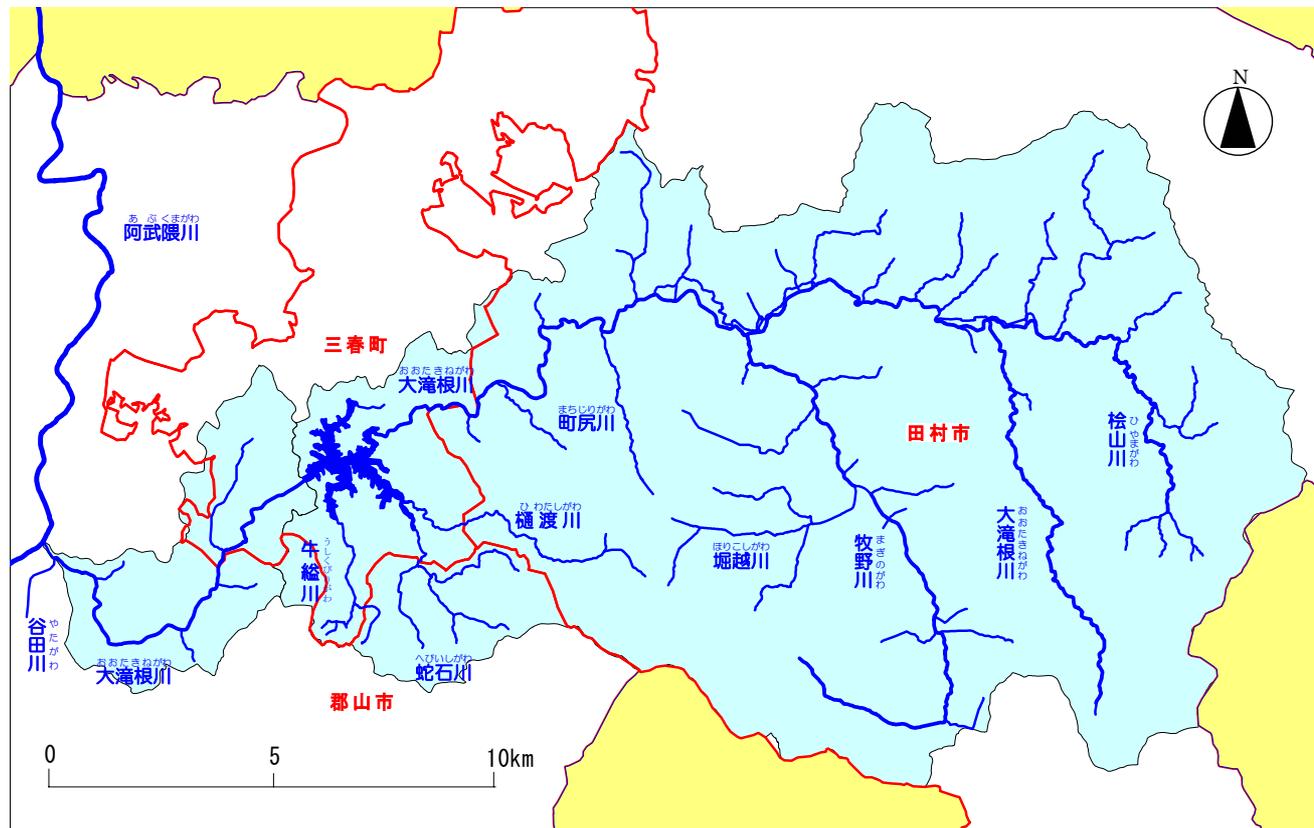
	種名	科名	ページ	環境	
鳥類	ハイタカ	タカ科	63,65	希少な動物	
	ハシブトガラス	カラス科	31	畑・家のまわり	
	ハシボソガラス	カラス科	31	畑・家のまわり	
	バン	クイナ科	66	希少な動物	
	ヒバリ	ヒバリ科	67	希少な動物	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ科	21	林の中	
	フクロウ	フクロウ科	20	林の中	
	ホオジロ	ホオジロ科	24	林のまわり	
	ホシハジロ	カモ科	35	湖	
	マガモ	カモ科	33,35	湖	
	ムクドリ	ムクドリ科	30	畑・家のまわり	
	ヤマガラ	シジュウカラ科	22	林の中	
	ヤマセミ	カワセミ科	25	川原	
	両生類・爬虫類	アオダイショウ	ナミヘビ科	44	川原・田んぼ・畑
		アズマヒキガエル	ヒキガエル科	40,45	林の中
		アマガエル	アマガエル科	43,45	川原・田んぼ・畑
		イモリ	イモリ科	69	希少な動物
		ウシガエル	アカガエル科	45,83	外来種
		カナヘビ	カナヘビ科	42	林のまわり
シマヘビ		ナミヘビ科	43	川原・田んぼ・畑	
ジムグリ		ナミヘビ科	40	林の中	
シュレーゲルアオガエル		アオガエル科	41,45	林のまわり	
シロマダラ		ナミヘビ科	72	希少な動物	
ツチガエル		アカガエル科	45,70	希少な動物	
トウキョウダルマガエル		アカガエル科	45,70	希少な動物	
トカゲ		トカゲ科	44	川原・田んぼ・畑	
ニホンアカガエル		アカガエル科	39,45	林の中	
ハコネサンショウウオ		サンショウウオ科	69	希少な動物	
ヒバカリ		ナミヘビ科	72	希少な動物	
マムシ		クサリヘビ科	42	林のまわり	
ミシシippアカミミガメ		ヌマガメ科	83	外来種	
モリアオガエル		アオガエル科	45,71	希少な動物	
ヤマアカガエル		アカガエル科	39,45	林の中	
ヤマカガシ		ナミヘビ科	41	林のまわり	
昆虫類		アオオサムシ	オサムシ科	48	林の中
		アオカナブン	コガネムシ科	50	林の中
		アジアイトトンボ	イトトンボ科	54	川原
		アリヅカウシカ	アリヅカウシカ科	75	希少な動物
		ウラギンシジミ	シジミチョウ科	76	希少な動物
		オオスズメバチ	スズメバチ科	51	林の中
	オオタコゾウムシ	ゾウムシ科	84	外来種	
	オオムラサキ	タテハチョウ科	77	希少な動物	
	オゼイトトンボ	イトトンボ科	73	希少な動物	
	オニヤンマ	オニヤンマ科	55	田んぼ	
	カブトムシ	コガネムシ科	50	林の中	
	カンタン	マツムシ科	84	外来種	
	キアゲハ	アゲハチョウ科	53	林のまわり	
	キチョウ	シロチョウ科	57	畑	
	ギンヤンマ	ヤンマ科	56	田んぼ	
	コクワガタ	クワガタムシ科	49	林の中	
	コサナエ	サナエトンボ科	55	田んぼ	
	ゴミムシ	ゴミムシ科	48	林の中	

昆虫類

種名	科名	ページ	環境
ジャノメチョウ	タテハチョウ科	51	林の中
スカシドクガ	ドクガ科	78	希少な動物
スジグロシロチョウ	シロチョウ科	58	畑
スジグロチャバネセセリ	セセリチョウ科	76	希少な動物
チョウトンボ	トンボ科	74	希少な動物
ノシメトンボ	トンボ科	56	田んぼ
ハグロトンボ	カワトンボ科	54	川原
ハッチョウトンボ	トンボ科	74	希少な動物
ベニシジミ	シジミチョウ科	52	林のまわり
マークオサムシ	オサムシ科	79	希少な動物
ミヤマクワガタ	クワガタムシ科	49	林の中
ムカシヤンマ	ムカシヤンマ科	73	希少な動物
ムモンホソアシナガバチ	スズメバチ科	78	希少な動物
ムラサキシジミ	シジミチョウ科	77	希少な動物
モモブトカミキリモドキ	カミキリモドキ科	53	林のまわり
モンキチョウ	シロチョウ科	57	畑
モンシロチョウ	シロチョウ科	85	外来種
ヤスマツトビナナフシ	ナナフシ科	75	希少な動物
ヤマトシジミ	シジミチョウ科	52	林のまわり

かんさつ
観察メモ

じぶん でみつけた動物たちや足あとの場所を記録しておきましょう。



参考文献

- | | | |
|----------------------|--------|--------|
| 日本動物大百科・哺乳類 I、II | (1996) | 平凡社 |
| 日本動物大百科・両生類・爬虫類・軟骨魚類 | (1996) | 平凡社 |
| 日本動物大百科・昆虫 I、II、III | (1996) | 平凡社 |
| アニマル・ウォッチング | (1985) | 晶文社 |
| 日本の野鳥 | (1998) | 山と溪谷社 |
| 日本のカエル | (2002) | 山と溪谷社 |
| 原色昆虫大図鑑 I～III | (1963) | 北隆館 |
| 鳥のおもしろ私生活 | (1997) | 主婦と生活社 |
| 外来種ハンドブック | (2002) | 地人書館 |

写真提供

- | | |
|-------------|------------|
| 荒木 克昌 (AY) | 一柳 英隆 (IH) |
| 金井 賢一郎 (KK) | 岸上 久 (KH) |
| 夏目 道生 (NM) | 根本 紀 (NO) |
| 真下 弘 (MH) | 水野 伸彦 (MN) |
- さくら湖自然観察ステーション (SK)
国土交通省東北地方整備局 三春ダム管理所 (MD)
応用地質株式会社 (OY)

イラスト

- 田島 香雅 (TK) 影山 奈美子

文章

- 影山 奈美子

事務局

- さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
鈴木 武、長岐 岳彦、浅見 和弘

発行

- さくら湖自然環境フォーラム実行委員会
〒963-7759 福島県田村郡三春町字大町 191
TEL. 0247-62-3837 FAX. 0247-62-4727



動物編

発行：さくら湖自然環境フォーラム実行委員会